

萩循環まあーるバス

～ 高齢者と観光客の利用を考慮した市街地循環バス～



山口県萩市商工振興課



萩市の紹介



- 山口県の北部、日本海に面し、明治維新発祥の地とも知られる歴史的観光都市
- 人口は50,022人（平成28年8月末日現在）
- 萩焼や夏みかん、蒲鉾などが全国的に有名
- 平成27年7月、萩城下町や松下村塾、萩反射炉などが「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録



萩焼



夏みかん



江戸時代の面影を残す鍵手形の道「鍵曲（かいまがり）」

まあーるバスの目的と特徴

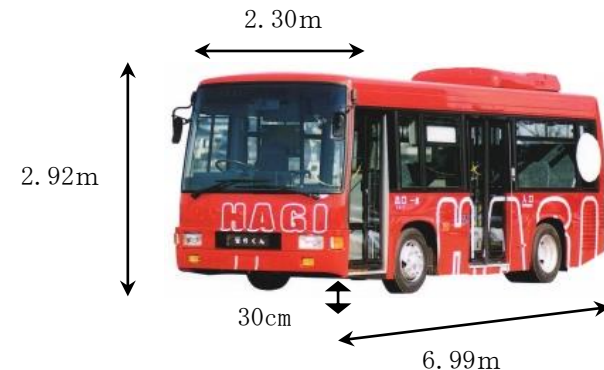


目的

- ・ 市民病院や介護老人施設の郊外移転に伴う、交通手段の確保
- ・ 点在する観光資源への交通手段の確保

特徴

- ・ 地域住民と観光客の利便性を考慮した路線設定
- ・ 運賃はどこまで乗っても100円
- ・ 市の花「椿」をイメージした、赤を基調としたデザイン
- ・ 城下町特有の入り組んだ道でも小回りが利き、高齢者がスムーズに乗降できる小型低床ノンステップバスを全国に先駆けて導入
- ・ 平日は地元住民の利用が多く、休日は観光客の利用が多い
(地元住民：観光客 = 7：3)



事業概要（その1）



運営方法

- ・事業主体 — 萩市
- ・運営業者 — 防長交通株式会社（平成12年4月1日～）

運行の経緯

- ・平成9年7月：「市内循環バス運行準備会」が発足
- ・平成10年11月～12月：福祉や観光など利用目的の異なるニーズに対応するため、幅広い層の市民や観光客に対して利用目的地を調査する「循環バス導入アンケート調査」を実施
- ・平成11年12月：萩市と防長交通株式会社間でバス運行委託契約を締結
- ・平成12年4月：運行開始



写真：萩観光情報サイト 萩ナビ

愛称

- ・平成11年10月に、一般公募によるバスの愛称を決定（応募総数223件）
- ・総称を「循環する」「回る」という意味の萩方言から「萩循環まあーるバス」と命名
- ・東回りを「松陰先生」、西回りを「晋作くん」と命名
- ・「循環バス」よりも「まあーるバス」の方が言いやすく馴染みやすいため、年配の方にもよく定着



路線

- ・萩市役所を起点に、東萩駅や松陰神社方面を回る「東回りコース」と萩城城下町や萩城跡方面を回る「西回りコース」の2系統
- ・2コースとも循環コースで、所要時間は1周約1時間
- ・これまで路線バスが走っていなかった地区や、高齢者などの交通弱者が多い地区を走らせ、市役所・市民病院・防長交通バスセンター及び市中心部のJR萩駅・東萩駅を結ぶ
- ・萩市役所を7：00始発～18：00終発で、30分間隔で運行
- ・東回りから西回り、または西回りから東回りに乗換ができる停留所「乗換可能停留所」を萩市役所や萩バスセンター、萩駅・観光協会前などに設置し、乗換の利便性を向上

ルート	走行距離	バス停	便数	所要時間
東回り	19.2km	41箇所	23便/日	56分
西回り	16.9km	36箇所		

（平成28年4月1日現在）

まあーるバス路線図



乗りやすく大変便利な

萩循環 まあーるバス

どこまで
乗っても！
¥100

運行時間

東回りコース（松陰先生）
始発7:00～終発18:00

西回りコース（晋作くん）
始発7:00～終発18:00

（起点終点の停留所はいずれも萩市役所）
この時間帯に、東回り・西回りともに30分間隔で運行します。
交通事情等で遅れることがあります

- 1歳未満児は無料
- 1歳以上9歳未満児は、
同乗者1人につき3人
まで無料



問い合わせ 防長交通株式会社 萩営業所 TEL 0838-22-3811
萩市商工振興課 TEL 0838-25-3108

路線図



バスカードを
ご利用ください！

バスカード等の種類	
1日乗車券	500円で1日乗り放題
2日乗車券	700円で2日乗り放題
1000円券	1100円分利用できます
3000円券	3360円分利用できます
回数券	1000円で11回分 (1100円分)利用できます

- バスカード等の販売所
- 市役所総合案内 ○萩市観光協会
 - 萩バスセンター ○東萩駅前観光案内所
 - 市民病院売店 ○まあーるバスの車内
 - 世界遺産ビュッケーセンター



料金

- ・高齢者、身体障害者、子供などの割引も考慮し、誰もが気軽に乗車できるように「ワンコイン100円」に設定
- ・市民や観光客の利便性を考慮し、現金の他にバスカードを発行し、地域住民や観光客の集まる施設等で販売
- ・まあーるバスの「1日乗車券」と「2日乗車券」は、路線バスの一部区間が利用でき、まあーるバスが運行していない笠山・越ヶ浜方面へのアクセスが可能



バスカード等種類	金額	特徴
1日乗車券	500円	1日乗り放題
2日乗車券	700円	2日乗り放題
1000円券	1,000円	1,100円分利用可能
3000円券	3,000円	3,360円分利用可能
回数券	1,000円	11回（1,100円）分利用可能

バスカード等の販売所
<ul style="list-style-type: none">・萩市役所総合案内・萩市観光協会・萩バスセンター・東萩駅観光案内所・市民病院売店・世界遺産ビジターセンター・まあーるバスの車内

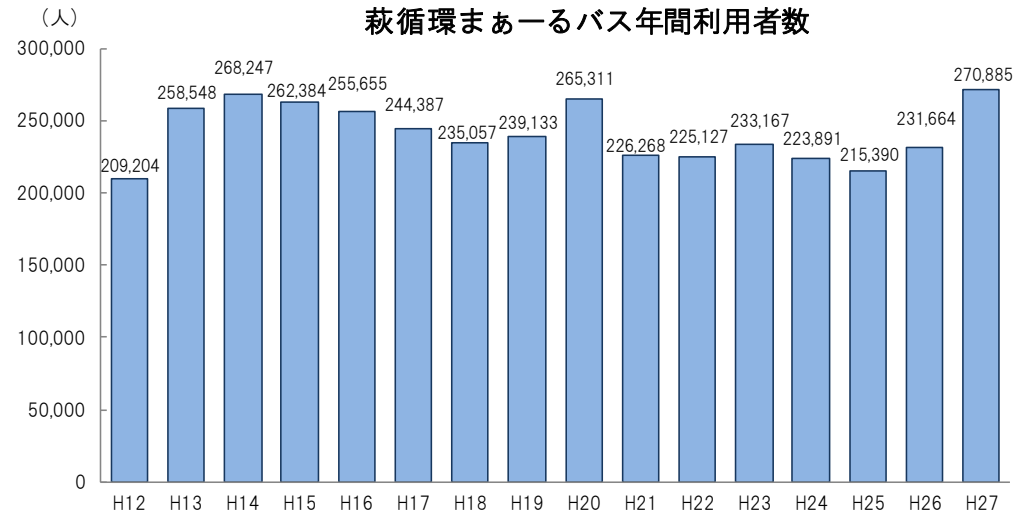
ルート変更・拡大に関する取り組み



年月	背景・目的	変更内容
平成12年4月	<ul style="list-style-type: none"> 萩循環まあるバス運行開始 	<ul style="list-style-type: none"> 西回り・・・1周30分（1台で運行） 東回り・・・1周1時間（2台で運行）
平成13年4月	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅萩しーまーと開駅 市道上野中ノ倉線の全線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ルート拡大：萩しーまーと、市道上野中ノ倉、船津地区など ルート変更：浜崎地区（定期船乗り場など）が西回りに変更、八丁筋（自動車学校ほか）が西回りに 西、東回り共に1周1時間（両ルート共に2台で運行）
平成16年11月	<ul style="list-style-type: none"> 萩博物館開館 	<ul style="list-style-type: none"> ルート拡大：萩博物館
平成19年4月	<ul style="list-style-type: none"> 国道262号バイパスの開通 県道萩川上線の開通 	<ul style="list-style-type: none"> ルート変更：西回りの一部を金谷地区、川島地区など新たに開通した262号バイパスルートに変更 西回りの浜崎地区（定期船乗り場など）を東回りに変更 東回りの椿東小学校～無田ヶ原団地前～萩しーまーとを新たに開通した県道萩川上線のルートに変更 田町商店街～萩城城下町～萩博物館のルートを廃止 東回りのサンライフ萩～萩東中学校前～弘法寺前～萩グランドホテル前を西回りに変更 東回りの椿東保育園前～末益蒲鉾店前を廃止
平成23年4月	<ul style="list-style-type: none"> 離島航路利用者の利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ルート変更：西回りのルートに「定期船乗り場」を新設、野山獄入口～寺町～熊谷美術館前ルートを廃止
平成25年4月	<ul style="list-style-type: none"> 福祉複合施設つばき開設 	<ul style="list-style-type: none"> ルート変更：西回りの萩駅～市民体育館入口～金谷を萩駅～福祉複合施設つばき～金谷に変更
平成27年1月	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ館開館 ザ・ビッグエクストラ萩店への乗り入れ開始 	<ul style="list-style-type: none"> ルート変更：西回り及び東回りに萩・明倫センター（大河ドラマ館前）を新設し、東回りの萩美術館・浦上記念館を廃止 西回りのサンライフ萩前、萩東中学校前、弘法寺前バス停を廃止し、萩グランドホテル天空前バス停を新設 西回りの萩城跡指月公園入口バス停を廃止 東回りの新川バス停を移設して新川南バス停を設置 ルート拡大：西回りにザ・ビッグエクストラ萩店を新設し、萩駅・観光協会前～福祉複合施設つばきを廃止



- 平成27年度は、萩市等を舞台にした大河ドラマ「花燃ゆ」が放映されたことや、世界遺産に認定されたことなどにより、過去最高の利用者（270,885人）を記録
- 平成20年度は、「山口デスティネーションキャンペーン」や「名探偵コナン明治維新ミステリーツアー」の影響で利用者が増加



※各年度の利用者数は「東回り」「西回り」の利用者の合計

利用者の声（一部）	
地元住民	病院へ行く際には毎回利用している
地元住民	車を運転しないため、買い物の際には利用している
観光客	世界遺産に登録された「萩反射炉」や「恵美須ヶ鼻造船所跡」にもまあーるバスで行けたら便利



利用促進への取り組み

- ・ 観光客向け：旅行ガイドブックやパンフレットでまあーるバスを紹介
- ・ 地域住民向け：市報でまあーるバスを紹介

課題

- ・ 平成27年度は、過去最高の利用者数を記録したが、平成28年1月以降、前年比減が続く
- ・ 運行開始以降、一度も改定を行っていない運賃（100円）の見直しなど、収入増加やラッピングバスの運行による利用促進を図る
- ・ 市民から要望がある新ルート（南回り）の開設等

大河ドラマ「花燃ゆ」のドラマ館をPRするラッピングバス



写真：タウン情報 萩